

教育支援プログラム(A)

SEINAN
GAKUIN

取組名称	英語・コミュニケーション研修
取組学部等	文学部外国語学科英語専攻
取組期間	2020年度

取組概要

英語専攻ではこれまでにペンシルベニア州立大学アビントン校(以下、PSU)に通算4度、合計50名近くの学生と教員を「英語・コミュニケーション研修」として派遣してきた。その都度 PSU としては専門の教員を2～3名この研修に充て、また buddy program の名のもと PSU で日本語を履修し、日本文化に関心が高い学生が多い年には20名近くボランティアとして本学の学生の相手をし、言語、文化などについてさまざまな経験を通して学ぶ機会を提供してくれた。2020年度からは、外国語学部の設置に伴い新たに協定を締結したデラウェア大学にて本研修を実施する予定である。

英語のみならず、どのような言語もその文化的背景から切り離して考えることはできない。また、当該言語が日常生活で使われる環境に身を置くことによって、本学の教室では得ることのできない実体験を通して言語運用能力、コミュニケーション能力を習得できる、あるいはそのきっかけを個人の学生がつかむことができると考える。英語専攻では通常の授業でも英語のネイティブ・スピーカーや留学生との体験を通して「生きた英語」を学ぶ経験を増やす機会を提供しているが、短期間であれ専門の教育者によって組まれたカリキュラムを通して言語とその運用に関する知識、経験を習得することには限りがあり、このような海外研修のプログラムは今後も継続していきたいと願っている。2021年度以降は外国語学科学生にも門戸を開く。

また、航空券、宿泊先の手配などは旅行社に依頼して行ってもらうものの、できる限り「自己責任」の実践として、たとえばESTAの手配などは学生の負担として各自行わせることによって、渡航、その準備、また帰国後のまとめなどすべてを「問題解決型思考」の実践として実施することにも大きな価値を置いている。